

近 畿 地 方 整 備 局
資 料 提 供

発表日時	平成14年5月24日 14:00
------	---------------------

件 名	近畿のみちを考える懇談会（第2回）を開催します －生活の豊かさを支える道づくりを考えます－
-----	--

概 要	わが国の経済社会情勢や国民意識が大きく変化している今日、道路に求められるサービスについて原点に立ち返って検討すべきとの認識のもと、近畿のみちづくりについて、専門家や有識者の方々から幅広い提言を頂くために「近畿のみちを考える懇談会」を開催しますのでお知らせします。
-----	---

取 り 扱 い	テレビ・ラジオ : _____ 新 聞 : _____
---------	--------------------------------

配 布 場 所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
---------	-----------------------

問 い 合 わ せ 先	近畿地区幹線道路協議会 (事務局：近畿地方整備局 道路部 道路計画第二課) 課長 市川 晴雄 (内線 4251) 電話：06-6942-1141 (代表)
-------------	--

近畿のみちを考える懇談会について

目的

- 近年の経済低迷とこれに起因する財政制約に加え、少子高齢化の進展、経済・産業の空洞化、地球規模での環境問題、情報技術の飛躍的な発展等大きな潮流の転換期にあり、戦後構築された経済社会システムのあり方そのものが問われています。
- また、国土の有効利用・適正管理という観点では、全国画一的との批判があり、身近な暮らしの質の向上や地域の選択による個性ある地域形成を重視する傾向が顕著となってきたなど、国民意識も大きく変化してきてます。
- これまでも、道路の整備により暮らしが変化し、また暮らしの変化が道路に更なる高度な役割やサービスを要求するなど、暮らしと道路が相互に密接に関係しあってきたところですが、経済社会情勢や国民意識が大きく変化している今日、道路に求められるサービスについて原点に立ち返って検討すべき時期にあると言えます。
- 以上のような認識を踏まえ、みちづくりについて、専門家や有識者の方々から幅広い提言を頂くために「近畿のみちを考える懇談会」を開催します。

懇談会メンバー

(別紙1)

開催予定

6月中旬頃までに3回開催予定

第1回 平成14年4月16日(火) 13:00~15:00 別紙2

◎ 第2回 平成14年5月28日(火) 10:15~12:15

ホテルグランピア京都
京都市下京区烏丸通塩小路下ル
JR京都駅烏丸口

第3回 平成14年6月中旬ころ開催予定

取材、傍聴

当日は記者席を設けております。受付に名刺をお渡しください。

主催

近畿地区幹線道路協議会

(近畿地方整備局、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、神戸市、JH関西支社、阪神公団、本四公団)

近畿のみちを考える懇談会 名簿

氏 名	所 属
飯田 恭敬	京都大学 大学院工学研究科 教授
井戸 智樹	歴史街道推進協議会 事務局長
上村 多恵子	(社)京都経済同友会 常任幹事
竹中 ナミ	社会福祉法人 プロップステーション 理事長
田中 英俊	関西広域連携協議会 事務局長
橋詰 武宏	福井新聞社 論説委員長
林 宜嗣	関西学院大学 経済学部 部長
原 慶文	滋賀県病院協会 会長 (長浜赤十字病院 院長)
古田 皓	テレビ和歌山 報道局長
槇村 久子	京都女子大学 現代社会学部 教授

第1回 近畿のみちを考える懇談会 概 要

平成14年4月16日(火) 13:00~15:00
新大阪ワシントンホテルプラザ 2階「レ・ルミエール」

座長	○ 飯田 恭敬	京都大学大学院工学研究科 教授
委員	○ 井戸 智樹	歴史街道推進協議会 事務局長
委員	○ 上村 多恵子	社団法人京都経済同友会 常任幹事
委員	○ 竹中 ナミ	社会福祉法人プロップステーション 理事長
委員	○ 田中 英俊	関西広域連携協議会 事務局長
委員	○ 橋詰 武宏	福井新聞社 論説委員長
委員	林 宜嗣	関西学院大学 経済学部 部長
委員	○ 原 慶文	滋賀県病院協会会長(長浜赤十字病院院長)
委員	○ 古田 皓	テレビ和歌山 報道局長
委員	横村 久子	京都女子大学 現代社会学部 教授
(五十音順・敬称略、○：ご出席頂いた委員)		

■事務局から「近畿のみちを考える懇談会」の趣旨説明を行いました。

□□□本懇談会を6月までに3回開催し、使う人が分かりやすい道路づくりを目指し、現在の問題点、ネットワークのあり方、計画の進め方などについて検討を進めたい。

○年々厳しくなる道路を取り巻く環境を踏まえ、懇談会での意見を真摯に受け止めて、新しい道路整備の進め方などについて考えたい。時間をかけてでも、変えるべきところは変えていきたい。

○本懇談会を6月までに3回開催し、「社会経済の視点と日常生活行動から広域的な動きまでの視点で道路を考える」、「道路構造とネットワークの視点で道路を考える」、「計画の進め方の視点で道路を考える」をテーマに、討議・検討を進めていただきたい。

■「社会経済の視点と日常生活行動から広域的な動きまでの視点で道路を考える」をテーマに活発な討議が行われました。

【討議要旨は以下のとおり】

- 国際交流時代にふさわしい道路が必要
- 利用者が使いやすく・分かりやすい道路体系や仕組みが必要
- 道路機能の役割分化が大切
- ユニバーサルな移動環境をつくることー総合的な情報提供が重要
- 地方部では、都市部と違った道路整備の考え方が必要
- 非日常的(災害など)な道路の機能も考えることが大切
- 近畿では歴史文化を活かした道路づくりが大切ーその保存と交流等への活用ー
- 道路に対する「信頼性」が重要
- 使う人・地域の人々の立場から道路を考えることが大切
- 道路には止まる機能も大切ー「道の駅」など
- 生活の豊かさを支える道路づくりが必要